

お 知 ら せ

国土を整え、全力で備える



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成29年2月10日

同時資料提出先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者ク
ラブ、中国地方建設記者クラブ

建設現場の生産性向上を目指し

第2回「中国地方 建設現場の生産性向上研究会」を開催します

国土交通省中国地方整備局では、建設現場における生産性を向上させ、魅力あ
る建設現場を目指す新しい取組みであるi-Construction（「ICTの全面的な活
用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」）を進めています。

「ICTの全面的な活用」では、中国地方各地の現場においてICTを活用し
た土工（ICT土工）を進めており、各現場で得られた知見や課題を共有し、建設現場の生産性向上をさらに推進していくため、国・自治体等関係者・関連民間
企業団体に構成する第2回「中国地方 建設現場の生産性向上研究会」を開催しま
すのでご案内いたします。

記

1. 開催日時 平成29年2月17日(金) 14:00～16:00
2. 開催場所 広島合同庁舎2号館（案内図参照）
3. 内 容 ICT土工実施上の課題、ICT活用の拡大に向けた意見交換 等
（別添次第参照）
4. 取材について 会議終了時点まで取材可能としております。
取材していただく場合は、準備の都合上、事前にお申し込み
をお願いいたします。
別添の申込書を2月16日（木）17時までにFAXにて
担当者まで送信をお願いいたします。

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局
（i-Construction担当）

TEL (082) 221-9231（代表）（平日昼間）

FAX (082) 227-5222

◎企画部 工事品質調整官

かわかみ りゆうぞう
川上 隆三（内線3130）

企画部 機械施工管理官

にしこおり ゆたか
錦織 豊（内線3132）

（広報担当窓口）

中国地方整備局 広報広聴対策官

さかや まさゆき
坂屋 政之（内線2117）

中国地方整備局 企画部 環境調整官

まつもと はるお
松本 治男（内線3114）

第2回 中国地方 建設現場の生産性向上研究会

日時：平成29年2月17日(金)14:00～16:00

場所：2号館6階7号供用会議室

議 事 次 第

1. 開会
2. 中国地方 建設現場の生産性向上研究会規則 改正
3. 中国地方の H28 年度取組状況報告
4. ICT活用の拡大に向けた意見交換
5. 全国の動向について
6. H28 年度 研究会としてのまとめ
7. 閉 会

<参 考>参加機関について

中国地方整備局、国土地理院中国地方測量部、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、岡山市、広島市、西日本高速道路株式会社中国支社、(一社)日本建設業連合会中国支部、(一社)建設業協会中国ブロック協議会、(一社)建設産業専門団体地区連合会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会中国支部、(一社)日本橋梁建設協会中国事務所、(一社)日本道路建設業協会、(一社)全国測量設計業協会連合会中国地区協議会、(一社)建設コンサルタント協会中国支部、(一社)全国地質調査業協会連合会中国地質調査業協会、(一社)日本建設機械施工協会中国支部、(一社)港湾技術コンサルタント協会、(一社)日本埋立浚渫協会中国支部

中国地方 建設現場の生産性向上研究会

- ・日時：平成29年2月17日(金) 14:00～16:00
- ・場所：広島合同庁舎2号館（広島市中区上八丁堀6番30号）、6階7号会議室



広島合同庁舎2号館
6階7号会議室
お手数ですが、北方側方入口の
入館受付にて、入館手続きを
行っていただくようお願いいたします。

○中国地方 建設現場の生産性向上研究会 【別 紙】

取材申込み用紙

申込 FAX：(082) 227-5222
平成29年2月15日(水) 17:00までにお申し込み下さい。

平成29年2月 日

国土交通省中国地方整備局

企画部 技術管理課 畑中・正木 行

1. 会社名・組織名：

2. 参加者氏名：

3. 電話番号：

FAX：

※ 上記項目は、必ず全て記入して下さい。

・この申し込み書によって得られた個人情報については、研究会開催準備のため以外には使用しません。

【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 : 代表 TEL (082) 221-9231

企画部 技術管理課 畑中(内線3312)、正木(内線3313)

i-Construction ～建設業の生産性向上～

- 建設業は社会資本の整備の担い手であると同時に、社会の安全・安心の確保を担う、我が国の国土保全上必要不可欠な「地域の守り手」。
- 人口減少や高齢化が進む中であっても、これらの役割を果たすため、建設業の賃金水準の向上や休日の拡大等による働き方改革とともに、生産性向上が必要不可欠。
- 国土交通省では、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの全ての建設生産プロセスでICT等を活用する「i-Construction」を推進し、建設現場の生産性を、2025年度までに2割向上を目指す。

測量

3次元測量(UAVを用いた測量マニュアルの導入)



従来測量



UAV(ドローン等)による3次元測量

施工

ICT建機による施工(ICT土工用積算基準の導入)



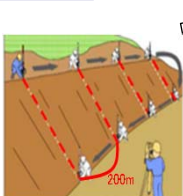
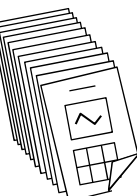
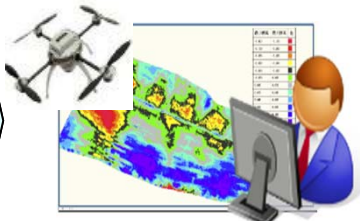
従来施工



ICT建機による施工

検査

検査日数・書類の削減

人力で200m
毎に計測計測結果を
書類で確認3次元データを
パソコンで確認

ICT土工 施工状況



【生産性向上イメージ】

